

## 第6回文化政策部会における主な御意見(概要)

### 1. 「はじめに」及び「第1 文化芸術振興の基本理念」について

- 全体的にもう少し強く書けないか。言い切り形にするなどコンパクトに表現すべき。
- 文化政策を総合的に推進する機関(文化省)の設置について書けないか。
- 例えば「文化芸術立国」を目指すなど、タイトル、サブタイトルを工夫して強調すべき。
- 政権交代後、予算要求の仕組みは変わった。国家戦略室や行政刷新会議を説得する上で霞ヶ関用語は役立たない。内容は概ね良いとしても、説得力のある文章を委員に執筆してもらう必要がある。
- せっかく高らかに謳っておりながら限定的な印象を与えてしまうので、1頁の注釈はない方がよい。
- 2頁の「③経済活動等の基盤確保」の部分は、「経済活動」だけでなく外交政策等例示を加えてはどうか。また、意見を例示列挙した箇所には、商業性と公共性といった矛盾する内容があるので、両者をうまく包含した表現とすべき。
- 意見を列挙するのではなく、文章化すべき。もう少し多面的に書いてはどうか。
- 「田園都市構想」については、30年間実現できなかったという印象を与えてしまいかねないので、書く必要ないのではないか。

### 2. 「第2 文化芸術振興のための重点施策」について

- 第2の1. は具体的な施策が見えてこないのが課題。理念はあまり議論しておらず、「審議経過報告」に向けてはより具体的な施策を明確に打ち出すべき。
- 次期予算編成では、選択と集中、競争と淘汰、階層化、工程表がポイントである。横串的な重点事項と個別分野の施策との仕切りを明確化して重点を強調すべき。
- 従来、文化においては長期・継続的な取組が重要とされてきたところ「階層化」は困難。重点施策として即効性を持ち得るものとしては、ハコモノが分かり易いが、それ以外で重点を打ち出すのは困難が伴うと思料。
- 第2次基本方針を策定する際にも工程表の必要性について議論され、「計画」ではないとの理由から設けなかった経緯がある。今回も最終的には設けないにしても、予算要求との関係では工程も必要と思料。
- 優先順位付けが必要である。予算要求事項を打ち出すとともに、文化芸術拠点の整備等、予算要求事項と競合しないものは同時に打ち出せる。文化予算を拡充する最大のチャンスであると同時に、新政権として前政権での取組を批判する形で予算要求できる最後のチャンスでもある。

- 各分野の共通事項を重点に置くのは一つの考え方であり、その中では、創造都市を含め、文化と観光の関連付けが弱い。その上で、個別分野にはこだわりすぎず、個別分野の事項でも重要なものは全体としての重点施策として打ち出すべき。
- 第2の2. はワーキンググループにおける議論の積み重ねによるものであり、取捨選択は困難。従って、第2の1. が最重要である。以下順不同として、①「アーツカウンシル」を含む支援制度の抜本的見直し、②メディア芸術祭を含む国際発信、③劇場や博物館・美術館も含む拠点整備、④アーカイブ、⑤人材育成、⑥産業や都市政策等の他分野との連携、⑦子ども、の7項目に各分野の重点施策を加えて整理すべき。
- 「新しい公共」と国の文化力の関係(「新しい公共」を活用して文化力を高めることにより、新たな公共が生まれ～という循環構図)について書くべき。
- 「文化予算の大幅な充実」の部分には、例えば「文化先進国のフランス並みに」等具体的目標を書くべきではないか。
- 科学技術分野では、日本学術振興会が 2,000 億円の科研費を配分している。文化分野においても、同様の機能を有する「日本芸術振興会(仮称)」のような組織を創設できないか。
- 「文化芸術の振興を国の政策の根幹に据えて」としながら「庁」では齟齬があるので、やはり「文化省」化を打ち出すべき。
- 既存の施設に対する支援は充実されてきているが、例えば横浜の BankART やトリエンナーレのような新たな文化芸術に対する支援を打ち出せないか。「劇場法」や「アーツカウンシル」についても具体的に書くべき。
- 人材育成については、人材流出を防ぐ観点からも若手のみならず中堅その他継続的な支援が必要。また、「支える」でなく、「創造する」人材としてはどうか。
- 文化を愛でる心を持つためには初等教育から考え直す必要がある。また、育成された人材により経済活動がなされなければ魅力は高まらない。省庁横断的に取り組む必要があるとともに、長期的に「文化芸術立国」に繋がる「百年の大計の第一歩」と宣言すべき。
- 一般的にアーカイブに対する感覚が鈍いので、次世代に繋ぐためにもその必要性を謳ってほしい。
- 経済発展のために文化が必要とされる一方で、文化振興のために経済を活用するという相互関係について書くべき。
- 文化芸術による「魅力」を高めることが重要で、そのことが経済波及効果をもたらす、という視点について書くべき。
- 文化により我が国の国際的な存在感を高めるとともに、文化を総合的な安全保障の一環として位置付けるべき。